

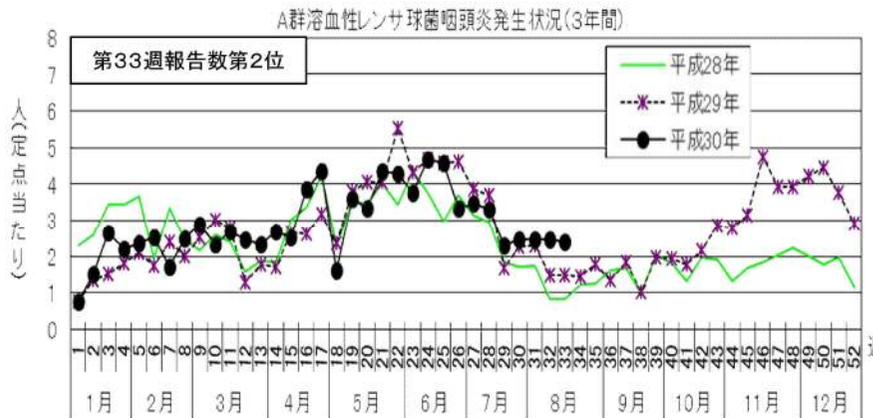
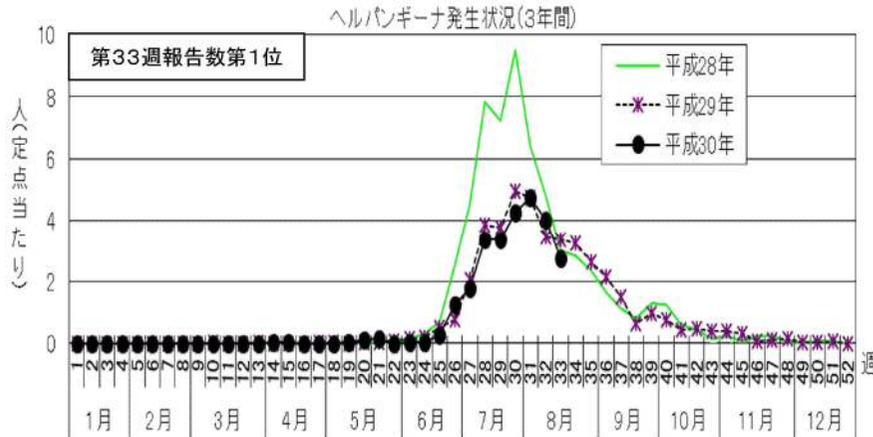
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年8月13日（月）～平成30年8月19日（日）〔平成30年第33週〕の感染症発生状況

第33週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)ヘルパンギーナ 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)RSウイルス感染症でした。ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は2.77人と前週（4.00人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.40人と前週（2.47人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.27人と前週（1.78人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。

★風しんウイルス★
ルペラくん



風しんの患者報告数が増加しています！！

風しんは、風しんウイルスを原因とする急性発疹性の全身感染症で、発熱、発疹、リンパ節腫脹を主症状とします。妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、白内障、先天性心疾患、難聴などの症状を呈する先天性風しん症候群の児が生まれる可能性があります。

7月下旬以降、首都圏を中心に風しんの患者報告数が急増しており、川崎市においても、平成30年第33週（8月13日～8月19日）までに計7件の患者が報告されています。風しんの流行に伴う先天性風しん症候群を予防するためには、ワクチン接種が重要です。

平成30年度川崎市風しん対策事業について

川崎市では、川崎市風しん対策事業として次のとおり風しん抗体検査と予防接種を実施しています。

1) 風しん抗体検査

【対象者】

川崎市に住民登録がある方で、原則として風しんに罹患したことがなく、今までに川崎市の事業を利用して予防接種又は風しん抗体検査を受けたことがない次のいずれかに該当する方。年齢制限はありません。

- ・妊娠を希望する女性
- ・妊娠を希望する女性のパートナー
- ・妊婦のパートナー

【自己負担額】無料

2) 予防接種（MRワクチン）

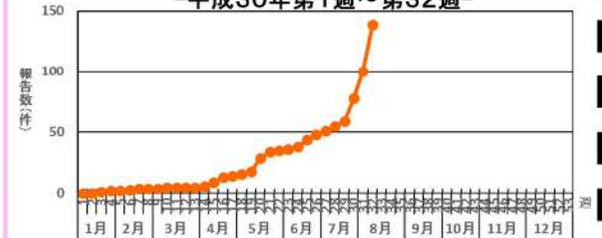
【対象者】

風しん抗体検査の結果、抗体価が十分でなかった方

【自己負担額】3,200円



全国における風しん累積報告数
-平成30年第1週～第32週-



川崎市における風しん累積報告数
-平成30年第1週～第33週-

